

日 本 史

注 意

1. 問題は全部で14ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。文字は楷書で丁寧に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

問 6 北部九州の古墳には、石室の壁面や石棺に彩色画や彫刻を施してあるものが集中的にみられる。この装飾古墳の例として最も適当なものを下から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号 **6**

- ① 竹原古墳 ② キトラ古墳 ③ 高松塚古墳 ④ 虎塚古墳

問 7 乙巳の変後行われた一連の改革で、唐の諸制度を取り入れ、制度化するために政治顧問が任命されたが、この役職を(あ)という。この役職に任命された人物の名前の組み合わせとして最も適当なものを下から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号 **7**

- ① 小野妹子・高向玄理 ② 小野妹子・南淵請安
③ 南淵請安・旻 ④ 高向玄理・旻

問 8 律令官制では各官司(役所)に幹部職員がおかれた。この各官司に幹部職員をおく制度を(い)制という。「国」の幹部職員の名称の用字として最も適当なものを下から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号 **8**

- ① 伯・副・祐・史 ② 大領・少領・主政・主帳
③ 守・介・掾・目 ④ 帥・式・監・典

問 9 7世紀の中ごろから8世紀にかけて鉱産物の開発が進展した。各国ではその国特有の鉱産物を採掘し、政府に献上した。その産出国と鉱産物の組み合わせとして最も適当なものを下から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号 **9**

- ① 陸奥・銅 ② 長門・錫 ③ 対馬・燃水 ④ 周防・銅

問10 823年に良田を農民に耕作させ、費用を差し引いて収穫物を収公し、歳入の減少を補い、財源確保の政策を行った。この直営田は何と呼ばれたか。また、この政策が行われた地域はどこか、その組み合わせとして最も適当なものを下から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号 **10**

- ① 畿内・官田
- ② 大宰府管内・公営田
- ③ 畿内・公営田
- ④ 大宰府管内・官田

問11 この湊は、鎌倉時代に陸奥国津軽地方の豪族が拠点として、日本海交易を行っていた湊である。この湊の名称とここを拠点として日本海交易を行っていた豪族名の組み合わせとして最も適当なものを下から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号 **11**

- ① 三国湊・北条氏
- ② 本吉湊・藤原氏
- ③ 十三湊・安藤(東)氏
- ④ 秋田湊・佐々木氏

問12 15～16世紀に日本・朝鮮・中国・東南アジアの交易の結節点に位置することから、中国・日本・南海を往来する船でにぎわった港である。この港とこれを掌握していた氏族の組み合わせとして最も適当なものを下から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号 **12**

- ① 巖原・宇久氏
- ② 那覇・尚氏
- ③ 堺・伊達氏
- ④ 福江・宗氏

問13 問7の(あ)に入る最も適当な語を漢字で書きなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問14 問8の(い)に入る最も適当な語を漢字で書きなさい。解答用紙(その2)を用いること。

II 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

近世になると、将軍を頂点にしなが、武家勢力(諸大名)、朝廷・公家勢力、寺社勢力に統制を加えることで、中世的な権力を包摂した専制国家が成立した。

諸大名への統制についてであるが、江戸幕府は一国一城令を出し、諸大名の居城以外は破却させた。また 以来、^㉑『武家諸法度』を發布し、大名への統制を明示した。また江戸幕府は、朝廷や公家に対しては禁中並公家諸法度^㉒を、寺院や僧侶に対しては寺院法度を出している。

江戸幕府の大名は徳川家の親戚にあたる親藩、譜代大名、外様大名に分けられる。親藩の中でも最高位だったのが御三家で、尾張家、紀伊家、^㉓水戸家があった。八代将軍吉宗以降になると、, 一橋家、清水家の三家が設けられ、将軍継嗣ができるようになった。この三家のことを御三卿という。

政務は老中が取りしきり、町奉行、勘定奉行、大目付を支配した、また、^㉔最高^㉕の職として臨時に大老を配置することがあった。大老には、10万石以上の譜代大名が任じられ、老中は2万5千石以上の譜代大名が任じられた。老中を補佐したのが若年寄である。

^㉖江戸時代の農村には村役人が存在し、村政を担った。農民の負担は という田畑や屋敷に課せられたものや漆年貢など土地の利用に対して課せられた小物成などがあった。他に、幕府領の場合、村高に応じて課せられた があった。伝馬宿入用などはその一つである。

領主が百姓に過重な年貢を強いると、百姓一揆が起きている。百姓一揆のあり方も多様であった。江戸時代の初期には、私財や命をかけて活動した が領主に直訴するような代表越訴型一揆というのがある。たとえば、下総国佐倉領の名主であった が領主の過剰な年貢増徴を苦にして将軍に直訴したという話が残されている。結局、領主を越えて将軍に直訴したこと(越訴)が理由となり、 は死刑になっている。この は、^㉗上野国の碓茂左衛門や信濃国松本藩の多田嘉助などとともに、 として伝承されることになる。

問 1 空欄 あ に入る適切な将軍名を漢字四文字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 2 下線部㉔の武家諸法度について述べた文として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 13

- ① 武家諸法度を根拠に方広寺鐘銘問題が起こった。
- ② 金地院崇伝が起草した。
- ③ 武家諸法度は元号が変わるごとに発せられた。
- ④ 最初の武家諸法度から参勤交代制は明記されている。

問 3 下線部㉕の禁中並公家諸法度に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 14

- ① 後水尾天皇が幕府に相談することなく紫衣を与えたことに対し、幕府が取り上げるという事件が起きた。
- ② 沢庵和尚は幕府から紫衣を与えられた。
- ③ 紫衣は仏門に入る証拠としてすべての僧侶に与えられた。
- ④ 後陽成天皇は禁中並公家諸法度に反発して明正天皇に譲位した。

問 4 下線部㉖の寺院法度について述べた文として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 15

- ① 寺院法度のことは諸宗諸本山法度、諸社禰宜神主法度などとも言われた。
- ② 寺院法度に基づき、本山・末寺の制度を整備した。
- ③ 踏絵を強要し、寺院法度を徹底した。
- ④ 寺院法度に基づき、寺檀制度が整備された。

問 5 空欄 に入る適切な家名を漢字三文字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 6 下線部㉔に関連して、水戸藩について述べた文として正しいものを、下の①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。

解答番号

- ① 17世紀、熊沢蕃山を登用し、儒教主義による藩政改革を実施した。
- ② 『大日本史』は水戸藩が編纂を始めた歴史書である。
- ③ 緒方洪庵は水戸学者として徳川斉昭を支え、藩校弘道館を設立した。
- ④ 徳川慶喜は水戸藩主徳川斉昭の子で、政事総裁職に任じられている。

問 7 下線部㉕に関連し、大老に任じられていない人物を次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 松平定信 ② 酒井忠清 ③ 堀田正俊 ④ 井伊直弼

問 8 下線部㉖に関連して、若年寄について述べた文として正しいものを、次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いる

こと。解答番号

- ① 外様大名から選任され、外様大名の監督を行った。
- ② 旗本より選任され、大名監察を行った。
- ③ 譜代大名から選任され、目付を支配し旗本・御家人を監察した。
- ④ 三奉行の一員として、江戸府内の治安維持を管轄した。

問 9 空欄 に入る適切な語句を、次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 公用銭 ② 冥加 ③ 本途物成 ④ 棟別銭

問10 空欄 に入る適切な語句を、次の選択肢①～④の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 夫 役 ② 高掛物 ③ 段 銭 ④ 村入用

問11 空欄 に入る適切な語句を漢字二字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

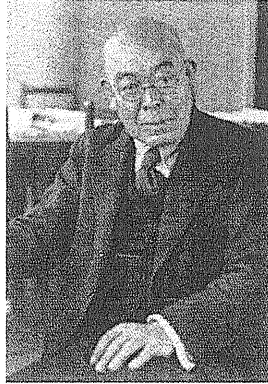
問12 空欄 に入る適切な人物を漢字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問13 下線部①に関連し、上野国に該当する地域は現在の何県に相当するか。最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 静岡県 ② 群馬県 ③ 茨城県 ④ 山形県

III

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。



写真は、桐生悠々(きりゅう・ゆうゆう、本名は政次)という明治から昭和戦前期にかけて活躍した新聞人である。桐生は1873(明治6)年、現在の石川県金沢市に生まれた。小学校では、『徼』『あらくれ』などの自然主義作品を残した小説家のアと同級生であった。1895(明治28)年に第四高等中学校を卒業し、帝国大学法科大学に進んだ。1901(明治34)年に東京帝国大学大学院に入り、明治民法起草者の一人で穂積八束の兄にあたる法学者であったイに師事した。1903(明治36)年、東京帝国大学法科大学の教授であった©の推薦で『大阪毎日新聞』に入り、『大阪朝日新聞』に転じたのち『東京朝日新聞』に出向した。

1910(明治43)年、『国民之友』や『国民新聞』などを創刊した評論家で徳富蘆花(作家)の兄であったウの推挽もあって『信濃毎日新聞』に主筆として迎えられた。同紙において桐生は、明治天皇の死去に際して世間が「神經過敏」に様々な活動を中止するのを批判したほか、日露戦争において旅順攻撃を指揮した軍人のエが明治天皇に従って殉死したことについても「陋習」〔時代遅れの習わし〕として批判するなど、自由な論を展開した。桐生はまた政友会批判も行ったが、自社の社長が政友会代議士であったことから1914(大正3)年に退社した。その後は新聞界を転々としたが、1928(昭和3)年、再び『信濃毎日新聞』主筆に就任した。

1933(昭和8)年8月、桐生は同紙に「関東防空大演習を啜^{から}う」とのちに題される記事を掲載した(掲載当時は「評論」)。この演習は同年8月9～11日にかけて行

われた大規模な防空演習で、敵機が東京上空に襲来したとの想定のもと、市民には灯火管制を中心とした参加協力が強制された。また、その様子はラジオで全国に放送されて国民的なイベントとなった。しかし桐生はこれを「実際には、さほど役立たないだろう」と批判した。なぜなら、「討ち漏らされた敵機の爆弾投下こそは、木造家屋の多い東京市をして、一挙に、焼土たらしめ〔中略〕関東地方
オ 当時と同様の惨状を呈する」ことになるからである。したがって「敵機
を関東の空に、帝都の空に、迎え撃つということは、我軍の敗北そのもの^①であり、国民はむしろ「こうした実戦が、将来決してあってはならないこと、またあらしめてはならないことを痛感したであろう」と主張したのである。

関東防空大演習に対しては、ほかにも市民による反対デモがあった。しかしこれに対しては当時非合法であった カ 党のメンバーが関係したとして参加者が検挙されている。桐生のこの記事も軍関係者から問題視され、桐生はまたも同社を去る結果となった。その後は個人雑誌『他山の石』を発行して世界情勢の分析や軍への警告を続けたが1941(昭和16)年に病気のため死去した。死の間際に記した『他山の石』^①廃刊の辞において桐生は、「小生が理想したる戦後の一大軍肅
を見ることなくして早くもこの世を去ることは如何にも残念^①至極に御座候」と述べた。

問 1 下線部①に関連して、1873年に起こった出来事を説明した文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 22

- ① 内務省が設置され、殖産興業や地方行政などにあたった。
- ② 地租改正条例が公布され、全国同一の基準によって貨幣で徴税する制度が整った。
- ③ 森鷗外・福沢諭吉・西周らの洋学者が明六社を創設し『明六雑誌』を発行した。
- ④ 板垣退助とともに征韓論を唱えた西郷隆盛が、政府内での反対にあって下野した。

問 2 空欄 に入る人物名を漢字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 3 下線部⑥に関連して、明治期の「中学校」について述べた文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 1872年の学制に基づき、尋常中学校(5年)と高等中学校(2年)とが定められたが、実際には高等中学校は設置されなかった。
- ② 1886年に出された中学校令に基づき、全国に高等中学校が設置された。
- ③ 1894年に出された高等学校令に基づき、多くの高等中学校は高等学校に改組された。
- ④ 尋常中学校は男子のみの教育を担い、1899年に中学校と改められた。

問 4 空欄 に入る人物は明治から昭和戦前期の法学者・官僚・政治家で、法学者としては門下に美濃部達吉を擁し、その天皇機関説の源流をなした。この人物名として正しいものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 上杉慎吉 ② 一木喜徳郎 ③ 平沼騏一郎 ④ 清浦奎吾

問 5 下線部⑦に関連して、明治天皇が死去した年に起きた事柄を説明した文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 中国で宣統帝の退位により清国が滅び、中華民国が成立した。
- ② スtockホルムで行われたオリンピック大会に、日本代表選手が初めて参加した。
- ③ 第一次護憲運動の結果、第三次桂太郎内閣が総辞職した。
- ④ 美濃部達吉『憲法講話』が出版され、のちに天皇機関説をめぐり上杉慎吉との間で論争となった。

問 6 下線部㉔に関連して、立憲政友会について述べた文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 26

- ① 1900年に結党し、1940年に解党した。
- ② 第3代総裁の原敬が暗殺されたのち、高橋是清が総裁となった。
- ③ 1924年、内部対立により離党した床次竹二郎らが政友本党を結党した。
- ④ 立憲政友会に所属した政治家で、第二次世界大戦後に自由民主党に所属した者は多くいたが、総裁となった者はいなかった。

問 7 下線部㉕に関連して、近代の新聞について述べた文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 27

- ① 1870年、最初の日刊邦字新聞として『横浜毎日新聞』が発刊された。
- ② 明治期は政治評論中心の「大新聞」と瓦版の伝統を継ぐ「小新聞」に大別されたが、『読売新聞』は前者の代表例とされる。
- ③ 黒岩涙香が創刊した『万朝報』は、内村鑑三、幸徳秋水、堺利彦らを入社させ、一時は日露非戦論を唱えたが、のちに開戦論に転じた。
- ④ 『大阪毎日新聞』『大阪朝日新聞』はともに発行部数100万部を超えた。

問 8 下線部㉔に関連して、ラジオについて述べた文のうち、正しいものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 28

- ① 1926年、東京・大阪・名古屋の各放送局を統合して日本放送協会が設立された。
- ② ラジオ受信機は高価であったため、第二次世界大戦前には一般家庭に普及しなかった。
- ③ ラジオ体操は、第二次世界大戦中に国民の体力増進のために考案され、ラジオ受信機の普及を促した。
- ④ 1945年8月15日に終戦を伝えたいいわゆる「玉音放送」は、日本放送協会のみならず民間放送局においても放送された。

問 9 下線部㉕に関連して、第二次世界大戦における空襲について述べた文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 29

- ① 「絶対国防圏」の一角であったサイパン島が陥落したことで、同島から飛来する米軍機の本土空襲が激化した。
- ② 空襲は当初、国民の戦意喪失を狙い都市の無差別爆撃として行われたが、1945年3月以降は主に軍需工場の破壊を目的として行われるようになった。
- ③ 空襲に備えて防空壕が掘削されたが、政府は国民に対し焼夷弾から逃げず消火に努めるよう呼びかけた。
- ④ 空襲を避けるため、1944年7月頃から学童の集団疎開が行われ、児童41万人あまりが地方の寺や旅館に収容された。

問10 下線部①に関連して、この年の出来事として誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 日ソ中立条約の締結
- ② 南部仏印進駐
- ③ 国民学校令公布
- ④ 「紀元二千六百年式典」開催

問11 下線部①に関連して、第二次世界大戦後の日本の軍事または防衛力について述べた文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 公職追放されていた旧日本軍の職業軍人が追放解除され、1950年に創設された警察予備隊に入隊した。
- ② 防衛費を国民総生産(GNP)の1%以内に抑えるという三木武夫内閣が定めた枠は、中曽根康弘内閣の下で破られた。
- ③ 1992年に宮沢喜一内閣のもとで成立したPKO法に基づき、自衛隊がカンボジアに派遣された。
- ④ 2015年、安倍晋三内閣のもと新ガイドライン関連法が成立し、それまで憲法違反と理解されてきた集団的自衛権の行使が容認された。

問12 空欄 に入る言葉を漢字三文字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問13 空欄 に入る言葉を漢字二文字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問14 戦時体制下の言論について述べた文のうち、誤っているものを以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 32

- ① 弁護士の正木ひろしは、1937年より個人雑誌『近きより』を発行し、政府に対し批判的な記事を発表した。
- ② 東京帝国大学教授であった矢内原忠雄は、1937年に発表した論文が反戦的と非難され、辞職に追い込まれた。
- ③ 1937年に内務省が発行した『国体の本義』では日本の天皇制が「万邦無比」であることが強調され、同書に基づき皇国史観に基づく教育が推進された。
- ④ イェール大学(アメリカ)教授であった歴史学者の朝河貫一は、日米開戦を避けるべくアメリカ大統領から日本の天皇に宛てて親書を送るよう働きかけた。